サマーショートボランティア

▲全員が出席したオリエンテーション

▲出来上がったエコバッグ

◀新聞紙でバッグ制作

◀共生かがみで利用者と一緒に陶芸体験

特老ホーム▶では車椅子の使い方をマスター

▲戦争の体験談に耳を傾ける受講生

小・中・高校生を対象としたサマーショートボランティアは、７月28日（火）から９回の日程で行われ、約80人が受講しました。町ボランティアセンターの主催。期間中は保育所や特老ホームなどでボランティアを体験するカリキュラムが用意され、受講生は興味のあるものを選んで参加していました。事後研修では、受講生は活動の感想を発表した後、平和について考えるため、戦争体験者５人の話を聴きました。この事業は、毎年行われており、年々受講生を増やしています。

今年の講師は桂幸丸氏
＝文化講演会＝

▲須賀川市出身の幸丸師匠

８月６日（木）町文化講演会実行委員会が開催され、今年度の講師や日程などが決定されました。講演会は、10月14日（水）午後６時30分から鏡石中学校体育館で、落語家の桂幸丸氏を講師に招き開催されます。講師の桂さんは、須賀川市（旧岩瀬村）のご出身で平成２年には真打ちに昇進され、全国各地で活躍されています。

福大人形劇部が公演
＝人形劇夏季巡回公演＝

福島大学児童文化研究会人形劇部による人形劇公演は、８月13日（木）町図書館で行われました。当日は、約60人の親子が鑑賞に訪れ、「ちいさなあくまのおくりもの」などが公演されました。この人形劇は、中通りの一部の町村で行われています。

▲かわいらしい人形が出演する人形劇

久来石区で太鼓６張り整備
＝コミュニティ助成事業＝

▲真新しい太鼓で練習する子どもたち

久来石区は、久来石盆踊り太鼓６張りを整備しました。太鼓の整備には、財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を受けての実施となりました。太鼓のほかにもテントなども整備され、８月14日、15日の２日間は盛大に盆踊りが行われました。

▲自分の思いを語る子どもたち

子どもたちが夢や希望を語る
＝少年の主張町大会＝

第11回少年の主張鏡石町大会は、８月８日（土）町図書館で行われました。出場した小学生11人、中学生６人は、日頃考えている夢や希望を語りました。最優秀賞は、大波智英美さん（一小６年）、橋本拓味さん（鏡中３年）の２人が受賞しました。松谷翔太さん（一小６年）、吉田真奈美さん（二小６年）、高久田唯さん（鏡中２年）、佐久間南さん（同３年）の４人が優秀賞を受賞しました。中学生の部上位３人は、県大会に推薦することになります。今後の活躍が期待されます。

まちの話題 フォトアルバム

鏡石Ａが優勝の栄冠に
＝元気カップソフト東日本大会＝

ソフトボールの第13回元気カップ東日本大会は、７月31日（金）から３日間、鳥見山野球場などを会場に行われました。県内外から小学生の男女合わせた30チームが出場し、トーナメント方式で熱戦が繰り広げられ、鏡石ソフトスポーツ少年Ａが優勝の栄冠を手にしました。

▲思い切ったスイングはナイスバッティング

記念すべき２０回大会を開催
＝牧場の朝サッカー交流＝

▲相手ディフェンダーをかわしてゴールを目指す選手

第20回牧場の朝サッカー交流大会は、８月15日（土）、16日（日）の２日間、鳥見山陸上競技場をメーン会場に行われました。大会は、交流大会に出場した18チームのほか３部門に分かれ熱戦が繰り広げられました。鏡石FCは、18チーム中６位の成績となりました。

1 94の御霊（みたま）に哀悼の誠を捧げる
＝戦没者黙祷式＝

▲忠霊塔を前に手を合わせる出席者

戦没者追悼式は、８月15日（土）忠霊塔前で開催されました。遺族を代表して会長の橋本昭男さんが「戦没者の英霊に対する意志を後世に伝えていきます」とあいさつされました。その後、出席者は、忠霊塔の前で手を合わせていました。

ごみは分別を　燃えるごみは、水をよく切ってから町指定のごみ袋で出してください。